

第141回企画展

外来生物

～人によって運ばれた生き物たちからのメッセージ～

2025年

4/26(土)
～6/15(日)



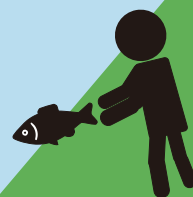
クビアカツヤカミキリ



ペットとしてやってきました



アライグマです



オカダンゴムシ



アメリカザリガニ



オオキンケイギク



Tochigi Prefectural Museum
栃木県立博物館

〒320-0865 栃木県宇都宮市睦町2-2
TEL: 028-634-1311 (代) FAX: 028-634-1310

- 開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝日を除く)、5/7(水)
- 観覧料 一般260(200)円／高・大生120(100)円／中学生以下は無料

※()内は20名以上の団体割引料金、またはM割料金

※M割(ミュージアム割引)について

栃木県博物館協会のM割参加施設の入館券を持って、入館日から6ヶ月以内にM割参加施設に入館すると、料金割引を受けられます。

外来生物 ～人によって運ばれた生き物たちからのメッセージ～

がいらいせいぶつ

外来生物とは・・・

もともとその地域にいなかったのに、人の活動によって他地域から持ち込まれた生き物のこと。



近年、新聞やテレビなどで報道される、ヒアリやアライグマ、オオハンゴンソウ、コカナダモなどは、人の体や暮らし、生態系に多大な影響を与える外来生物です。

この展示では、どんな外来生物が、どのように持ち込まれて、人とどんな関わりがあるのかを紹介します。

外来生物イコール悪者ではありません。外来生物の恩恵と悪影響を知って、外来生物との付き合い方についてを考えてみませんか？

プロローグ 自ら移動する生き物たち

渡り鳥や、風によって移動してくる昆虫や植物は自分の力でやってくるので、外来生物ではありません。



◀オオハクチョウ

ツバメ▶



第1章 外来生物ってなに？

外来生物がどんな生き物で、どのように持ち込まれて、人とどんな関わりがあるのかを紹介します。



▲イネ



▲カイコ



▲ネコ

第2章 外来生物がもたらす悪影響

人の体や暮らし、もともといた生き物同士のつながりやすみか（生態系）に悪影響を与えている外来生物を事例とともに紹介します。



▲ハクビシン



▲コイ



▲アメリカオニアザミ

第3章 とちぎの外来生物

栃木県の外来生物について、その特徴や影響、対策を紹介します。

また、これから栃木県に入ってくると予想される外来生物も紹介します。



▲オオハンゴンソウ



▲アマゾンチカガミ



▲オオクチバス

エピローグ 外来生物と人の付き合い方

私たちは、外来生物とどのように付き合っていけば良いのか、みんなで考えてみませんか？

関連行事

●シンポジウム「栃木県の外来生物対策」 要予約 定員：150名 会場：当館講堂
5月31日(土)10:00～16:00

主催 栃木県(県立博物館 環境森林部自然環境課)

【基調講演】講師：苅部治紀氏(神奈川県立生命の星・地球博物館 主任研究員)

事例紹介 県・市・市民団体による県内の外来生物対策事例の紹介

●観察会 要予約

●「外国からやってきた日本初記録のゾウムシをさがそう」

4月29日(火・祝)10:30～12:00 定員：20名 会場：蓼沼親水公園(上三川町)

●「外来生物をさがそう！ in 中央公園 & 鶴田沼」

5月3日(土)10:00～16:00 定員：30名 会場：栃木県中央公園、鶴田沼(宇都宮市)

●「外来生物をさがそう！ in 多気山」

5月4日(日)10:00～15:00 定員：30名 会場：多気山(宇都宮市)

●学芸員による展示解説 要観覧料 会場：当館企画展示室

4月26日(土)、6月8日(日)14:00～15:00

お申込みはこちら



予約の必要なものは、QRコードもしくはTel、受付でお申込みください

お問い合わせ

栃木県立博物館 教育広報課 Tel.028-634-1312

アクセス

◎JR宇都宮駅(西口)から(関東バス)

●13番のりば 37「桜通り経由鶴田駅行」または37「桜通り経由西川田駅行」で「中央公園博物館前」下車(徒歩8分)

●10番のりば 43「長坂経由鹿沼営業所行」または40「西の宮団地行」で「文星芸術大学附属中高」下車(徒歩8分)

◎東武宇都宮駅から

関東バス「東武駅前」バス停で上記バスに乗り

